



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月29日

上場会社名 ヒューリック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3003 URL https://www.hulic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉留 学
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 広報・IR部長 (氏名) 伊藤 伸 TEL 03 (5623) 8100
 四半期報告書提出予定日 2021年8月5日 配当支払開始予定日 2021年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	220,067	37.3	58,691	25.1	56,568	24.9	35,943	30.4
2020年12月期第2四半期	160,265	△6.3	46,907	20.3	45,257	23.0	27,547	5.4

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 43,302百万円 (255.2%) 2020年12月期第2四半期 12,190百万円 (△53.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	53.80	—
2020年12月期第2四半期	41.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	2,140,663	519,527	24.1	774.44
2020年12月期	2,019,336	489,043	24.0	728.31

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 517,429百万円 2020年12月期 486,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	17.50	—	18.50	36.00
2021年12月期	—	19.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	110,000	9.3	100,000	4.5	65,000	2.1	97.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は賃貸事業を中心とした安定的な事業構造を有していますが、販売用不動産の売買動向によっては、営業収益（売上高）が大きく変動いたします。この物件売買の成否は経済情勢や不動産市況に大きく影響を受ける状況にあり、現状では予測が困難であるため、営業収益の予想は記載しておりません。予測が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	673,907,735株	2020年12月期	673,907,735株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	5,780,421株	2020年12月期	5,941,885株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	668,027,083株	2020年12月期 2 Q	668,081,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により当社グループの一部の事業運営に影響があるものの、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間に竣工、取得した物件によりオフィス等の不動産賃貸収入は安定的に推移しております。また、販売用不動産の売上也順調に推移したことなどにより、営業収益は220,067百万円(前年同期比59,802百万円、37.3%増)、営業利益は58,691百万円(前年同期比11,784百万円、25.1%増)、経常利益は56,568百万円(前年同期比11,310百万円、24.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,943百万円(前年同期比8,396百万円、30.4%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次の通りであります。

(各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益、振替高を含みます。)

(不動産事業)

当社グループの中核事業は、東京23区を中心に、約260件(販売用不動産除く)の賃貸物件・賃貸可能面積約132万㎡を活用した不動産賃貸事業であります。マーケットニーズに即した用途バランスと競争優位性を有する賃貸ポートフォリオを再構築する観点から、ポートフォリオの組替をおこなうとともに、耐震・省エネに優れた開発・建替の加速による優良アセットの積み上げに取り組んでおります。また、高付加価値を創出して収益化するバリューアッド事業の強化にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における新規物件(固定資産)の取得につきましては、リクルート銀座8丁目ビル(東京都中央区)などを取得いたしました。

開発・建替事業(固定資産)につきましては、HULIC & New UDAGAWA(東京都渋谷区)が2021年3月、HULIC & New SHINJUKU(東京都新宿区)が2021年5月に竣工いたしました。

そのほか、(仮称)銀座8丁目開発計画(東京都中央区)、(仮称)銀座6丁目並木通り開発計画(東京都中央区)、ヒューリック札幌NORTH33ビル建替計画(札幌市中央区)、ヒューリック福岡ビル建替計画(福岡市中央区)及びヒューリック札幌ビル建替計画(札幌市中央区)などが順調に進行しております。

PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業につきましては、(仮称)錦糸町開発計画(東京都墨田区)などが順調に進行しております。

販売用不動産につきましては、Dプロジェクト新三郷(埼玉県三郷市)などを取得し、相鉄フレッサイン大阪なんば駅前(大阪市浪速区)、ヒューリック渋谷宮下公園ビル(東京都渋谷区)、ヒューリック京橋イーストビル(東京都中央区)、Dプロジェクト新三郷(埼玉県三郷市)、日本ヒューレット・パカード本社ビル(東京都江東区)、DSBグループ潮見ビル(東京都江東区)及び仙台ファーストタワー(仙台市青葉区)(底地・出資の持分)などを売却しております。

このように、当セグメントにおける事業は順調に進行しており、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間に竣工、取得した物件によりオフィス等の不動産賃貸収入の増加に加え、販売用不動産の売上也順調に推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の営業収益は209,794百万円(前年同期比65,642百万円、45.5%増)、営業利益は67,349百万円(前年同期比14,351百万円、27.0%増)となりました。

(保険事業)

保険事業におきましては、連結子会社であるヒューリック保険サービス株式会社が、国内・外資系の保険会社と代理店契約を結んでおり、法人から個人まで多彩な保険商品を販売しております。保険業界の事業環境は引き続き厳しい環境にありますが、既存損保代理店の営業権取得を重点戦略として、法人取引を中心に営業展開をしております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は1,618百万円(前年同期比81百万円、5.3%増)、営業利益は478百万円(前年同期比79百万円、19.8%増)となりました。

(ホテル・旅館事業)

ホテル・旅館事業におきましては、連結子会社であるヒューリックホテルマネジメント株式会社は「THE GATE HOTEL」シリーズ、ヒューリックふふ株式会社は「ふふ」シリーズ、日本ビューホテル株式会社は「ビューホテル」シリーズを中心に、ホテル及び旅館の運営をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置を受けて、一部店舗の一時休業や新規予約の停止等を実施したことに伴い、客室の稼働率及びレストランや宴会等の需要が低迷しました。

この結果、当セグメントにおける営業収益は8,091百万円(前年同期比△3,079百万円、27.5%減)、営業損失は4,311百万円(前年同期は営業損失2,914百万円)となりました。

(その他)

その他におきましては、主に連結子会社であるヒューリックビルド株式会社が、当社保有ビル等の営繕工事、テナント退去時の原状回復工事、新規入居時の内装工事を中心に受注実績を積み上げた結果、営業収益は3,708百万円(前年同期比△2,479百万円、40.0%減)、営業利益は304百万円(前年同期比△486百万円、61.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,140,663百万円となり、対前期末比で121,326百万円増加いたしました。当社グループにおきましては、貸貸ポートフォリオの再構築と開発事業及びバリューアッド事業の強靱化の観点から、ポートフォリオの組替や開発・建替及びバリューアッド事業を推進しております。

また、ヒューリックリート投資法人及びヒューリックプライベートリート投資法人の中長期的な収益向上と優良アセットの着実な積上げを実現するために、スポンサーとしてのサポートやバックアップにも努めております。

主な項目の増減は以下の通りであります。

・現金及び預金	127,444百万円増加
・販売用不動産	45,779百万円減少(固定資産からの振替、物件の取得及び売却等)
・建物及び構築物	5,273百万円減少(物件の取得、竣工及び販売用不動産への振替等)
・土地	32,009百万円増加(物件の取得及び販売用不動産への振替等)
・投資有価証券	15,394百万円増加(投資有価証券の取得、売却及び有価証券の含み益の増加等)

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,621,135百万円となり、対前期末比で90,842百万円増加いたしました。これは、主に、設備投資等に伴い、資金調達をおこなったことによるものであります。

当社グループの借入金残高は1,060,953百万円となっておりますが、このうち特別目的会社(SPC)のノンリコースローンが19,635百万円含まれております。金融機関からの資金調達については、高い収益力を背景として安定的に低コストで調達をおこなっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、519,527百万円となり、対前期末比で30,484百万円増加いたしました。このうち株主資本合計は、480,658百万円となり、対前期末比で23,666百万円増加しております。これは、主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

また、その他の包括利益累計額合計は、36,771百万円となり、対前期末比で7,275百万円増加いたしました。これは、主に、有価証券の含み益が増加したことによるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により128,249百万円増加し、投資活動により87,149百万円減少し、財務活動において86,344百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には222,148百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,683	128,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,317	△87,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	179,372	86,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,119	222,148

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは128,249百万円の収入(前年同期比60,565百万円)となりました。これは主に、不動産賃貸収入及び販売用不動産の売却を主因とした税金等調整前四半期純利益が54,441百万円、たな卸資産の減少額が88,821百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは87,149百万円の支出(前年同期比59,168百万円)となりました。これは主に、賃貸ポートフォリオの再構築と開発事業及びバリューアップ事業の強靱化の観点から、ポートフォリオの組替や開発・建替等をおこなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは86,344百万円の収入(前年同期比△93,028百万円)となりました。これは主に、上記、ポートフォリオの組替や開発・建替等のために、資金調達をおこなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は概ね計画通りに推移しており、2021年12月期の業績予想に変更はありません。

今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響が深刻化し、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,051	222,495
受取手形及び営業未収入金	4,645	3,354
商品	19	18
販売用不動産	135,970	90,190
未成工事支出金	393	842
貯蔵品	316	285
営業投資有価証券	2,587	—
その他	9,310	10,949
貸倒引当金	△4	△12
流動資産合計	248,290	328,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	248,996	243,723
機械装置及び運搬具(純額)	3,198	4,498
土地	1,242,764	1,274,773
建設仮勘定	13,182	9,564
その他(純額)	12,341	12,115
有形固定資産合計	1,520,482	1,544,676
無形固定資産		
のれん	3,430	3,344
借地権	78,329	78,605
その他	1,063	1,271
無形固定資産合計	82,823	83,221
投資その他の資産		
投資有価証券	138,043	153,437
差入保証金	19,761	20,630
繰延税金資産	890	820
退職給付に係る資産	128	323
その他	6,747	7,484
貸倒引当金	△15	△16
投資その他の資産合計	165,555	182,681
固定資産合計	1,768,862	1,810,579
繰延資産		
繰延資産合計	2,184	1,960
資産合計	2,019,336	2,140,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	44,836	63,731
短期社債	—	50,002
未払費用	4,423	3,514
未払法人税等	18,562	19,150
前受金	7,959	7,790
賞与引当金	343	162
役員賞与引当金	325	151
その他	11,023	10,643
流動負債合計	87,474	155,145
固定負債		
社債	345,000	345,000
長期借入金	970,352	997,222
繰延税金負債	27,972	30,406
株式給付引当金	1,907	1,934
退職給付に係る負債	1,532	1,336
長期預り保証金	82,612	76,743
その他	13,442	13,346
固定負債合計	1,442,819	1,465,989
負債合計	1,530,293	1,621,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,718	62,718
資本剰余金	88,867	88,868
利益剰余金	308,012	331,511
自己株式	△2,607	△2,440
株主資本合計	456,991	480,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,630	36,451
繰延ヘッジ損益	△14	△11
退職給付に係る調整累計額	△119	332
その他の包括利益累計額合計	29,495	36,771
非支配株主持分	2,555	2,098
純資産合計	489,043	519,527
負債純資産合計	2,019,336	2,140,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業収益	160,265	220,067
営業原価	93,058	140,427
営業総利益	67,206	79,640
販売費及び一般管理費	20,299	20,949
営業利益	46,907	58,691
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	1,429	1,394
持分法による投資利益	375	253
賃貸解約関係収入	299	879
その他	241	922
営業外収益合計	2,354	3,464
営業外費用		
支払利息	3,516	5,017
その他	486	569
営業外費用合計	4,003	5,587
経常利益	45,257	56,568
特別利益		
固定資産売却益	531	—
投資有価証券売却益	4	85
匿名組合等投資利益	—	101
工事負担金等受入額	—	84
雇用調整助成金等	—	117
その他	0	—
特別利益合計	537	388
特別損失		
固定資産除却損	850	620
建替関連損失	659	473
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,287
その他	346	133
特別損失合計	1,856	2,515
税金等調整前四半期純利益	43,938	54,441
法人税、住民税及び事業税	14,990	18,892
法人税等調整額	1,321	△478
法人税等合計	16,311	18,414
四半期純利益	27,626	36,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,547	35,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	27,626	36,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,058	6,759
繰延ヘッジ損益	2	2
退職給付に係る調整額	△106	444
持分法適用会社に対する持分相当額	△273	68
その他の包括利益合計	△15,436	7,275
四半期包括利益	12,190	43,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,110	43,218
非支配株主に係る四半期包括利益	79	83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	43,938	54,441
減価償却費	7,757	7,984
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△497	△180
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△140	△174
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	188	195
退職給付に係る資産負債の増減額	20	54
受取利息及び受取配当金	△1,437	△1,408
支払利息	3,516	5,017
持分法による投資損益 (△は益)	△375	△253
固定資産除却損	850	620
有形固定資産売却損益 (△は益)	△55	—
無形固定資産売却損益 (△は益)	△473	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	△62
匿名組合等投資損益 (△は益)	—	△53
売上債権の増減額 (△は増加)	201	1,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	36,258	88,821
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	18	2,712
差入保証金の増減額 (△は増加)	△819	△870
預り保証金の増減額 (△は減少)	373	△5,848
その他の資産の増減額 (△は増加)	△832	△265
その他の負債の増減額 (△は減少)	△224	△1,587
小計	88,264	150,306
利息及び配当金の受取額	1,554	1,452
利息の支払額	△3,499	△5,050
法人税等の支払額	△18,707	△18,460
法人税等の還付額	71	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,683	128,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△139,066	△81,738
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△350	△355
投資有価証券の取得による支出	△7,008	△7,042
投資有価証券の売却による収入	41	1,638
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△15	—
貸付けによる支出	—	△5
貸付金の回収による収入	1	4
その他	79	350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,317	△87,149

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,000	—
短期社債の純増減額 (△は減少)	129,882	50,004
長期借入れによる収入	69,700	70,000
長期借入金の返済による支出	△14,521	△20,870
社債の償還による支出	△5,016	—
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△424	△1
配当金の支払額	△11,771	△12,444
非支配株主への配当金の支払額	△35	△31
その他	△439	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	179,372	86,344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	100,738	127,444
現金及び現金同等物の期首残高	48,380	94,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,119	222,148

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りに関する仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	142,821	1,536	11,161	155,519	4,745	160,265	—	160,265
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	1,331	—	9	1,340	1,442	2,782	△2,782	—
計	144,152	1,536	11,170	156,860	6,187	163,048	△2,782	160,265
セグメント利益 又は損失(△)	52,997	398	△2,914	50,482	790	51,273	△4,365	46,907

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,365百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,352百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ホテル・旅館事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	207,701	1,618	7,950	217,271	2,796	220,067	—	220,067
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	2,092	—	141	2,234	911	3,145	△3,145	—
計	209,794	1,618	8,091	219,505	3,708	223,213	△3,145	220,067
セグメント利益 又は損失(△)	67,349	478	△4,311	63,515	304	63,820	△5,128	58,691

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5,128百万円には、セグメント間取引消去△233百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,895百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。